

パン

食事しょくじのとき、誰だれと、どんな話はなしをしているか、次の空白くわいはくに書いて下さい。

イエスさまは人々ひとびとにパンを与あたえる

イスラエルの民たみがエジプトを脱出だつしゅつし、約束やくそくされた

国くにに入るまでの間あいだ、荒れ野あをさまよっていたことが伝えられています。そこでイスラエルの民たみはいつも「天てんからのパン」であるマンナを食たべて生活せいかつしていました。

この荒れ野あにおける生活せいかつは、いつまでもイスラエルの民たみにとって忘れられないものとなりました。荒れ野あの道みちにおいては、神かみがいつもイスラエルの民たみを導みちびいていましたので、この期間きかんを後あとでふりかえると、むしろ恵みめぐの時ときとして考かんがえるようになりました。

イスラエルの民たみがエジプトを脱出だつしゅつする前夜ぜんや、神かみの使つかいがエジプトのういごを打うたれる時ときに、イスラエル

の家を過ぎ越されたことを記念して種なしパンの話
が伝えられています。

この種なしパンの祭りは、イスラエルにおいてくり
かえし祝われるようになり、イエスさまも弟子たちと

共に、最後の晩さんにおいて種なしパンを食べました。

この最後の晩さんの記念を、教会ではミサという

形式で引き続き行なわれています。このミサの中でさ

さげられるパンの特色は、これがイエスさまの体で

あると言われていることです。

今日の福音では、イエスさまが「いのちのパン」で

あると言われています。ミサにおいてイエスさまの死
を記念するだけではなく、今もここにおいて私たち
に力を与えているイエスさまと出会うことが大切な
のです。とりわけ、パンとぶどう酒という目に見える
しるしを通して、私たちはイエスさまと出会うこと
ができるのです。

